



令和6年6月15日、札幌大学みらい共創スクエアを会場に「まちづくりフェスタ」を開催しました。二度目の開催となった今年は、昨年よりも多くの団体にご協力をいただき、大盛況のうちに無事終えることができました。今回は経済学専攻4年鈴木大晴が、JAびほろブースについてご紹介していきます！



# JAびほろがサツダイにやってくる！

## 美幌町

-美しい時を描くまち-



### 美

幌町は、雄大な自然に囲まれた地域で、特にジャガイモやタマネギ、ニンジンなどの農作物が豊富です。これらの作物は、肥沃な土壌と清らかな水によって育まれ、高品質で知られています。さらに、美幌町の農業は地域経済の重要な柱として機能しており、地元の特産品として多くの人々に親しまれています。その中でもジャガイモは全国的にも高い評価を受けており、地域の誇りとなっています。美幌町の農業は地域経済の重要な柱であり、JAびほろはその中心的な役割を果たし、特産品を広く支える重要な存在です。

JAびほろ  
QRコード↓



<サポート学生>

経済学専攻4年 小坂 和輝

法学専攻1年 佐藤 楓

日本語・日本文化専攻

1年 鈴木 叶夢



## まちづくりフェスタに向けた事前準備

# 打ち合わせ & POP制作

札幌と美幌の地理的な距離を克服するため、オンラインツールを活用しながら意見交換・交流を重ねました。最初は緊張した面持ちの学生も交流を重ねるごとに打ち解けていき、直接、顔を合わせるのが初めての当日は、会ってすぐに笑い声が聞かれるなど良好なコミュニケーションが図られました。JAびほろの特設ブースでは、美幌町の農作物を使用した商品の取扱がありました。サポート学生の中には美幌町を訪れたことのない学生もあり、商品を初めて知る学生もいたため、JAびほろさんのご厚意で、取扱う商品を事前に試食させていただきました。試食では、「どういった商品なのか」や「どんな味がするのか」、「どんな食感なのか」など、それぞれで細かくメモを取りながら、来場者の皆さんにお伝えできるよう理解を深めました。また、商品のPOP作成を任せていただき、商品説明だけでなく、食べたからこそわかる感想を記載したオリジナルのPOPを協力しながら作成しました。

JAびほろさんとの関わりを通して、美幌町という、まちに対する理解を深めることにも繋がる機会となったようでした。

① 打ち合わせの様子



② POP制作のための大事な試食！



③ 完成したPOP！





# 当日の様子

## 特設ブースでの販売

JAびほろの特設ブースでは、カレーやスナック菓子などの美幌町の農作物を使用した商品の販売をメインに展開しました。

事前に取扱う商品を知る機会を持っていたため、商品を初めて手に取る来場者の皆さんに、学生目線で商品の魅力を伝えることができました。

最初は緊張している様子が伺えた学生たちも、自らお声がけするようになるなど、時間が経つにつれ自信を持って商品のご案内をしている姿が見られました。

学生からは、「商品の魅力を上手く伝えられるか不安だったが、購入いただけたときは嬉しかった」や「来場者の方の笑顔を見て達成感が得られた」などの声が聞かれました。

ご協力いただきましたJAびほろの皆さん、ありがとうございました。

↓実際に販売している様子



↓JAびほろブース



## ビースター君も参加してくれました

JAびほろのマスコットキャラクター「ビースター君」がまちづくりフェスタに参加してくれました。

ビースター君が現れると、自然と子どもたちが集まり、会場は途端に撮影会にチェンジ！

また、まちフェスの会場を盛り上げるだけでなく、同日に開催していた玄天祭（第57回大学祭・第49回文連祭）のステージ「キャラクターパーティー」にも登場してくれました。他のキャラクターと一緒に音楽に合わせて踊る様子は、ステージを観に来ていた子どもたちを自然と笑顔にしていました！

### ビースター君のプロフィール

お父さんは北海道の大自然、お母さんは美幌の大地。顔は野菜のタネで、頭の上には若葉のプロペラ、背中にはマントがついてるよ！

↓ビースター君とCDLメンバー



↓踊るビースター君



## JAびほろ 学生リーダー 小坂 和輝さんより

初めてのことに對する嬉しさと不安が入り混じる中で、他の担当学生とともに、事前準備から当日まで楽しく作業を進めることができました。当日は少人数ながらも、それぞれが周囲を気遣いながら行動できたことが良かったと思います。また、今回初めて大学祭とまちづくりフェスタに参加させていただきましたが、ステージや出店など、魅力がたくさん詰まったイベントだと感じました。機会があれば、卒業後もぜひ訪れたいと思っています。

